

I. 基本計画

1. 基本理念

現代社会においては、生活水準の向上・安定、高齢社会の進展、余暇時間の増大、さらには急速に進む科学技術の高度化や情報化などを背景に、社会状況や教育環境は大きく変化しています。そうした状況において、人々の中では心豊かで充実した人生を送ることが大きな目標となり、生涯学習に対する関心が益々高まっています。

一方、まちづくりを進める上では、行政だけでなく地域住民や企業、NPO※など多様な主体が参画して社会の公益を実現していくことが求められており、活力ある地域づくりの実践やそのための学びの活動として生涯学習の必要性と重要性が一段と増しています。

これまで本市では「うるま市総合計画」に基づき、潤いと生きがいのある生涯学習社会※をめざした取り組みを進めており、豊かな郷土文化や自然、産業等の資源を活かし、市民一人ひとりが“いつでも、どこでも、誰でも”学べる学習環境の整備や、学習活動の支援を図ってきました。

本市の目指す生涯学習社会の構築は、市民生活の向上と地域社会の活性化に寄与するものです。即ち、次代を切り拓く人を育み、活力ある明日のうるま市に繋がっていくものと言えます。個人の自己実現のための学習が、いずれ地域活動参加のきっかけとなり、それが人づくり、やがてはまちづくりへと繋がります。そうした生涯学習のまちづくりを推進するための学習支援には、変動する社会情勢、高度情報化により多様化する価値観を捉える必要があります。今後、教育や福祉、経済等のあらゆる枠組みを取り払い、学習情報の一元化を図りながら、多角的で具体的な生涯学習への取り組みが求められています。

それらを踏まえ、本市では、生涯学習を一人ひとりの生きがいづくりから人づくりへ、そしてうるま市の活力あるまちづくりの構築へと繋げるため、以下の基本理念を掲げます。

市民が学び合い、支え合う 協働※のまち うるま

知の循環型社会を構築し、共に支え合う相互扶助社会を市民協働により築き、市民一人ひとりが郷土に誇りを持ち、健康で安心して暮らすことのできる安らぎと潤いに満ちた生涯学習社会を目指します。

※NPO、協働、生涯学習社会：用語解説参照

2. 基本方針

(1) 学びを支える環境を創る

市民が“いつでも、どこでも、誰でも”楽しく学べるように、拠点となる生涯学習センター（中央公民館）の整備を図るなど、多様な生涯学習の場の充実を図ります。また、市民が必要とする生涯学習の情報について、一元的且つ積極的に発信していくとともに、学習活動に必要な専門的な指導者の養成・確保を行うなど、学びを支える環境づくりに取り組みます。

(2) ライフステージに応じた多様な学習活動・発表の場を提供する

市民の多様な学習ニーズ[※]に対応するため、子どもから高齢者まで多様なライフステージに応じた魅力ある学習プログラムの開発を推進し、学習機会の充実を図ります。また、市民の学習意欲を支え、学習者の励みとなる活動成果発表の場を提供していくことにより、学習活動の継続やスキルアップ[※]に繋がります。

(3) 学校支援や地域活動等を通し、学んだことを地域づくり・まちづくりに活かす

生涯学習によって身につけた成果をまちづくりに積極的に還元し、社会貢献に繋げてもらうため、「学校支援」を足がかりとし、学校と地域との連携体制を構築する中で学社融合[※]による地域づくりを推進します。また、市民との協働によるまちづくりを進めるため、各種市民活動への支援を行うとともに、多様な人材の育成・活用を図ります。

(4) まちづくり生涯学習の推進体制を整備する

市民の生涯学習ニーズに即した事業展開を図るため、ニーズの把握を行うとともに、全庁的な生涯学習推進組織等との連携・充実のもと、まちづくり生涯学習の推進体制を整備します。加えて、それぞれのセクションが実施する生涯学習事業について、連携・調整を行う中でより効果的な事業実施を図ります。

※学習ニーズ、学社融合、スキルアップ：用語解説参照